

檄

働く仲間の勝利めざし、全力を挙げよう

本日、7月21日投票の第25回参议院議員選挙が公示された。今回の選挙は、安倍一強政治に歯止めをかけ、真の民主主義を取り戻し、連合が求める「働くことを軸とする安心社会」を実現していくための一里塚となる重要な国政選挙となる。

安倍政権は、「3本の矢」「女性活躍」「地方創生」「一億総活躍」そして「人づくり革命」と、実態を伴わないスローガンの政策を乱発し、その成果の検証は行わず、一方、選挙で争点として正面から問わなかった特定秘密保護法や安全保障関連法、共謀罪法などを、数の力で押し通してきた。

本年4月からは、働き方改革関連法が施行されたが、安倍政権の「強い特権意識」と「働く者への共感力の欠如」の先にあるのは、「働き方改革」ではなく「働かせ方改革」に他ならず、このような政権に、「働き方改革」を任せるわけにはいかない。

また、毎月勤労統計の不正により「アベノミクス偽装」の一端が明らかになったが、安倍政権のもとで、不安定雇用が増大し実質賃金は下がり続け、経済成長の核となる個人消費は増えていない。さらに、金融審議会の報告書をきっかけに年金制度の信頼性にも疑問符がついており、子どもの貧困、保育、介護、老後の生活など、働くもの・生活者を取り巻く環境は悪化の一途をたどっている。

今、求められていることは、働くもの・生活者の現状を直視し、国民生活全体の底上げ・底支え、格差是正につながる政策を早急に実行することである。また、将来不安の払拭に向けて、社会保障と税の一体改革の原点に立ち戻り、社会保障の充実・安定化を早急に図らなければならない。

このような中で迎える選挙戦は極めて厳しいものになるだろう。しかし、厳しいからこそ結束しなければならない。まさに連合運動の力量と真価が問われる選挙である。すべての人が社会の中で自分の居場所と出番を見出すことができる社会づくりに向けて、大阪府選挙区ではかめいし倫子さん、にしゃんたさん、比例代表選挙では10名の組織内候補を勝利させよう。そのために渾身の運動を展開しようではないか。

7月21日の投票日まで、総力を挙げて組合員に訴え、家族や親戚、知人や友人の共感を得よう。持てる力を結集して、ともに、がんばり合おう！

2019年7月4日

日本労働組合総連合会大阪府連合会

会長 山崎 弦一